

ねらい

学校では、子どもたちの豊かな人間性をはぐくむために、体験活動等を生かしながら教育活動全体を通じて道徳教育を進めています。また、実生活の中で生きてはたらく道徳的実践力をはぐくむために、学校だけでなく、家庭や地域と連携しながら進めていくことができるよう、道徳の授業の積極的な公開に努めています。

現状と課題

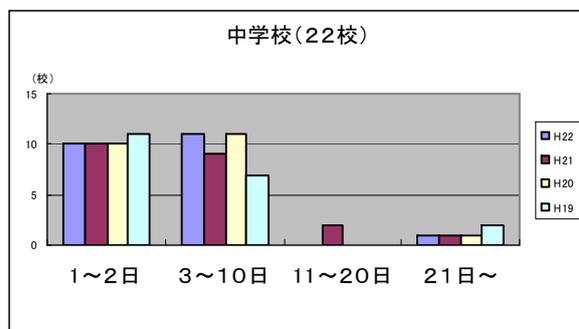
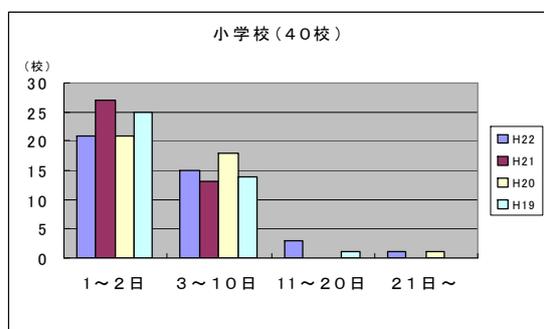
○ 体験活動等を生かした道徳の時間の授業を年間3回以上実施した学級の割合

<平成22年度>

| 小学校 | 中学校 | 平均 |
|-----|-----|-----|
| 88% | 98% | 93% |

- ・ 総合的な学習の時間や特別活動での体験をもとにして関連性のある資料を用いたり、参加体験型学習を取り入れたりしながら、道徳教育の取組を進めています。

○ 平成19～22年度の道徳の授業公開実施期間



- ・ 学校公開日や授業参観日に道徳の授業公開を位置付け、多くの学級で公開しています。(平成22年度全学級で道徳の授業を公開した学校 — 小38校, 中19校)
- ・ 道徳の授業を積極的に公開するとともに、保護者参加型の道徳の授業を行ったり、授業の内容を学校だよりや学年だより、ホームページなどで発信したりしています。この結果、保護者や地域等からは、学校の道徳教育の取組について「道徳の授業参観をきっかけに、いじめや差別問題について家庭でも話題にすることができた」、「子どもの成長が感じられた」、「子どもが考えていることがわかった」といった理解・評価をいただいています。

今後の方向性

- 道徳的実践力を育てるために、実生活や実社会とのかかわりを深め、さまざまな体験活動を生かした道徳教育の推進をより一層図ります。
- 道徳の授業公開を積極的に行うとともに、地域の人々の参加や協力を得るなど、家庭や地域社会との連携を図ります。
- 道徳教育推進教師を中心に、道徳教育全体指導計画の改善と各教科等の学習や日常生活と響き合うようなよりよい道徳教育年間指導計画の作成を行います。また「道徳教育実践事例集・Ⅱ・Ⅲ」等を参考にしながら、子どもの心に響く教材開発や指導法の工夫等を行います。